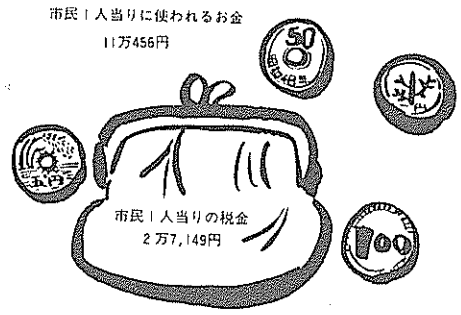


予算から……一人当りの市税二万七千四百四十九円



### 市税2億4千万円 25%の伸び

ことし1年間の市行政をすすめるために必要な一般会計当初予算は、財政再建とのからみ合いから3月の定例市議会に提案できず、年度始めの4～5月は、2か月の暫定予算が組まれましたが、こ

昭和51年度  
**48億1千4百万円**  
あすある町のために

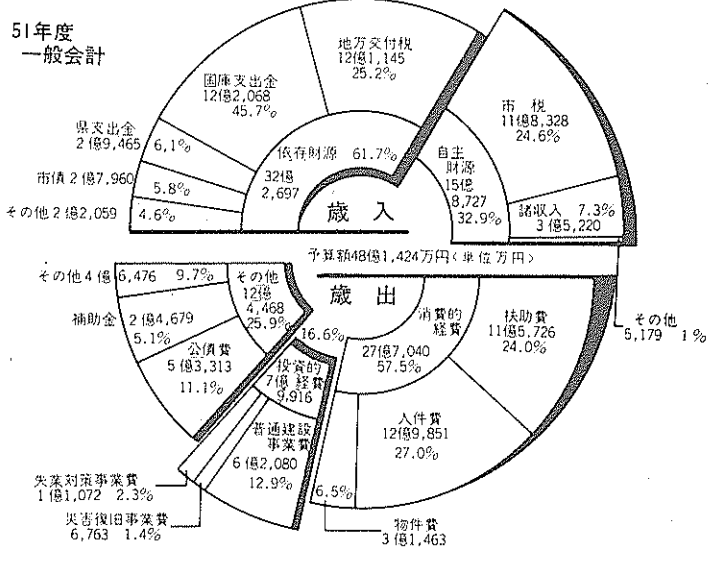
これまでと違って、人件費や物件費などすべてに亘る削減によって、公債費や衛生費など一部の費目を除いて、ほとんどが大幅な減額計上となっています。  
なお、一部留保され、こんご検討される経費もかなりあります。

### 社会福祉

恵まれない人たちを大切に、あたたかい春の日ざしをさしのべるための民生費は、総予算のうち41.93%、20億1,868万円で、前年度より4%、8,664万円の減額となっています。  
■おとしよりや子どもたちを大切に……47年よりの交通遺児手当、昨年ようやく実現した母子福

どの第122回臨時市議会  
で、総額48億1,424万円  
(前年度45億8,614万円  
2億2,807万円の増)のほ  
ま年間予算が決まりました。  
ことしの予算は、自主  
財政再建の初年度という  
特殊な状況のもとに編成  
され、市税の引き上げ、  
人件費、物件費、補助金  
などあらゆる歳出面での  
引き締めなど非常にきび  
しいものがあります。  
歳入で大きなものは、国・県の  
支出金15億1,533万円(31.5%)地

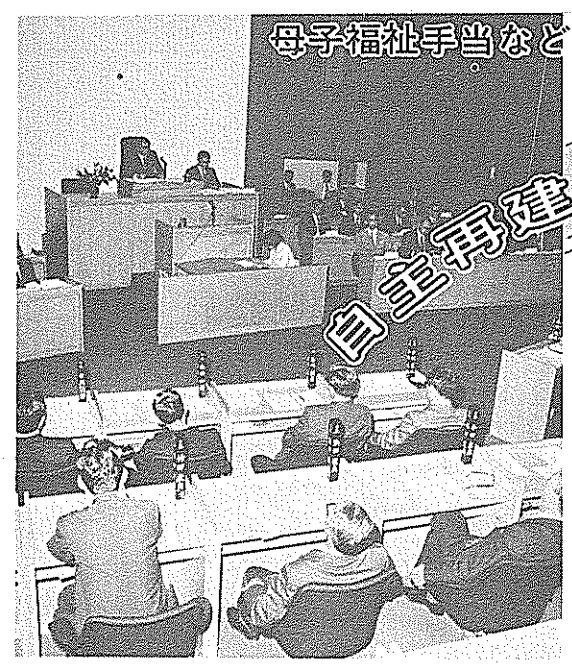
方交付税12億1,145万円(24.9%)  
そして税法改正と財政再建にとも  
なう税率アップの市税は、11億8,3  
28万円(24.6%)で前年度より25  
.5%、2億4,073万円と伸びていま  
す。歳入面で前年度より減収とな  
ったのは、市債の1億7,960万円減  
と財政収入の1億6,731万円減など  
が主なものです。  
なお、諸収入の3億5,220万円は  
前年度より2億2,215万円増えてい  
ますが、歳出面での前年度繰り上  
げ充て金4億円とのからみ合いから、  
3億円の赤字補てんの歳入が  
組み込まれています。



### のぞまれる春のひざし 民生費20億円

社手当及び46年からの80歳以上の  
おとしよりへの祝い金など、市独  
自の制度は廃止されました。  
ところで、遺児と母子手当につ  
いては、4～5月分の計58万円が  
計上されており、支給されます。  
■昨秋に完成し、10月から店開  
らきをした社会福祉センターの建  
設資金の利子補給2,663万円、社会

福祉協議会への補助200万円、社会  
福祉活動専門員設置補助に105万  
円など。  
■身体障害者のための経費に1,731  
万円、更生収容施設への委託料44  
万円、補聴器や補装具、生活用具  
などの給付扶助に195万円など  
■精神薄弱者のための経費1,611万  
円は、前年度より540万円の増で  
施設収容委託料1,404万円、家庭奉  
仕員の経費150万円。  
■おとしよりの生きがいのための  
老人クラブ活動への補助453万円  
(5P左上へ)



### 母子福祉手当など廃止 自主再建へ踏み出す 5月臨時市議会

財政の自主再建という重大な責務を負った  
ことしの市政を決める百二十回市議会  
臨時会は、五月十八日から二十四日  
までの七日間の日程で開かれ  
昭和五十一年度一般会計当初予  
算一部修正可決、交通遺児年金支給  
条例を廃止する条例など七議案を原案ど  
おり可決し閉会しました。

健全化をはかるための財政再建へ  
の幕明の年として、市税の税率ア  
ップ、再建の答申をもとに歳出の  
すべてにわたっての見直しなど、  
財政再建を至上の命として編成さ  
れた当初予算は、総額四十八億一  
千万円で、ことし一億円の赤字を  
解消することになっています。  
この当初予算に関連した、▼交  
通遺児手当の支給(一人月二千元  
の二十人、約四十六万円)▼母子  
福祉手当支給(一人月千円の一五  
〇世帯、二百二十人、約二百六十  
四万円)▼老人年金支給(一人年  
額三千円の八百五十人、約二百三  
十万円)の三つの条例を廃止する条例  
が提出され、「弱いものいじめを  
する」「ささやかな福祉の灯を消  
すものだ」など、廃止に反対する

意見も多く、小笠原市長は「この  
三つの条例を廃止することは心ぐ  
るしい、財政健全化の見通しがつ  
きだいたい早ければ明年度からでも  
復活したい。」と復活する意志の  
あることを表明しており、場合に  
より一年限りの辛抱となりそう?  
このほか、▼市集会所設置及び  
管理条例の一部改正は、中央第四  
集会所の完成にもなうもの、▼  
消防手数料条例の一部改正は、五  
十円を百円に▼市消防団員の報酬  
の改正は、他市との格差がでたた  
め実施するもの、▼同和対策農業  
基盤整備事業で行なう農道下末松  
祈年線(延長七百二十五、幅員  
四、工費七千二百四十万円)の  
市常土地改良事業の工事施行の承  
認、▼五十年一般会計補正予算  
(補正額一億一千五百四十四万円)の専  
決処分報告など、議案七件、報  
告一件は、原案どおり可決承認さ  
れました。

これらの議案より先議された一  
般会計当初予算は、民生費に計上  
されている同和関係団体に対する  
「補助金」を三百六十万円、「負  
担金」七十万六千円を減額、及び  
教育費の「旅費」六十万円を減額  
した四百九十九万六千円を準備費へ  
まわすという修正案が六名の議員  
から出された結果、修正案及び修  
正部分を除く予算原案がそれぞれ  
賛成多数で可決されました。

一般会計予算は、予算総額四十  
八億一千四百二十四万三千円で、  
前年度予算に比べて総額で二億  
二千八百万円、四・九七%の増額  
となっていますが、繰上げ充て金  
四億円を除くと実質予算は、四十  
四億円となり減額されています。  
歳入では、国庫支出  
金十二億二千万円(二  
四・六%)で前年度より四千万円  
の増となり、地方交付税十二億一  
千四百四十五万円(二四・九%)千  
一百四十五万円増▼税法改正と再  
建計画にともなう税率アップの市  
税は、総額で十一億八千三百一  
十萬八千四百(二四・六%)、昨年度に  
くらべて二億四千七百三十三万(二  
五・五%)の増収となっています。

ゲート設置、下野田水路、新田川中井水路などの改修、土居農道橋架換えなどに2,403万円などがあります。

■市有林の保育事業を含めた林業振興に712万円(154万円減)。

■水産業の振興に659万円(683万円減)は、漁家小口貸付200万円などが主な経費。

■商工業の振興のための貸付金500万円など商工関係に1,233万円。

### 地方改善事業に 2億5千万円

1億4,186万円、公営住宅増開工事3,696万円、西山越戸線1,680万円、共同利用農機具1,300万円など12件の事業が見込まれています。

ほかに市単独事業430万円があります。

■失業対策のための経費に、賃金6,366万円、一時金1,626万円、原材料500万円など1億1,072万円

■49~50年度に災害を受けた、オ谷川、奈路桑の川線など50件あまりの公共土木施設の復旧工事に6,015円。天行寺水路など6件あまりの農林水産施設に748万円などの災害復旧工事があります。

### 情操を高めるため

教育に3億7千万円

■市美術展100万円。高齢者、家庭、婦人、青年学級に——121万円など社会教育関係に3,265万円。

■同和教育を市民のものにするために266万円、同和地区の学童、学生の奨学資金750万円、集会所の運営に要する経費229万円など同和教育振興に4,519万円。

■公民館839万円。市史編さん154万円、おながどり保存99万円など文化財保護の経費に307万円。

■市民の健康と体力づくりのためのスポーツ振興と体育館の運営に1,096万円など。

### 産業

■農地保全のための農地費は、7,868万円。前年度より528万円の増で団体営土地改良事業の岩瀬川排水路改修工事1,593万円、長岡排水路改修478万円、農免道路野田線舗装14,35万円。県単土地改良事業の待

産業を興し守るために 三島で二次構



■同和地区やその周辺地域の環境の改善向上のための地方改善事業は、国庫補助事業1億848万円、大湊浜窪線2,564万円、農道下末松祈年線3,300万円、共同モミ乾燥作業所1,700万円ほか数件が計画されており、県補助事業に

### 教育文化

■教育費の総額は、3億7,074万円の前年度より1億3,683万円の減。

■亀岩地区から久礼田小学校へのスクールバスの運行委託料420万円、教材購入代1,136万円。要保護及び準要保護児童のための就学援助に272万円、消耗品代1,023万円など、小学校関係1億7,071万円。また、教材購入代646万円。就学援助211万円、消耗品代845万円など、中学校関係に3,662万円。

■白木谷・亀岩幼稚園に1,332万円、大篠女学院に595万円。教育研究所に419万円。

■市民のいのちと財産を守るための消防費は、前年度より34万円増の1億2,591万円。消防団員の報酬は35%引き上げられて746万円。久枝消防屯所の改築に305万円、前浜消防栓162万円、タンク車購入700万円など、施設の改善もはかられます。

■長岡三島地区で52年度から4年計画で実施される、第2次農業構造改善事業(土地基盤整備事業、工費約5億円、対象耕地約40ヘクタール)の実施設計に538万円。水田総合利用事業(稲転)307万円、ライスセンター借入金元利補給140万円など元利補給に1,245万円、温州みかん改植等促進対策事業101万円など事業補助に334万円など、農業振興の経費に2,506万円。

### 建設

### 大湊小にプール

建設事業に6億円

■道路の新設、改修するための建設事業(土地改良事業分を除く)に、国道小運橋線の新設に3,500万円、奈路中谷線改良工事900万円を国庫補助事業で、県単事業で宮前線橋りょう新設工事1,500万円、空港周辺整備に600万円、都市周辺整備900万円。市単独事業の道路橋りょう新設改良工事に6,291万円など。

■その他の建設事業は、県単事業で河川美化対策1,400万円。かけくずれ対策1,603万円。市単独事業でガードレールなど交通安全施設設置に490万円。ことしから設計に入る土佐山田町から高知市に至る浦戸湾東部流域下水道事業調査に要する負担金532万円。下水道基本計画の委託300万円など。

■学校や社会教育などの教育施設の建設に、大湊小学校プール新設2,292万円、東部西部集会所建設3,169万円などを国庫補助事業で実施されます。

### 社会福祉

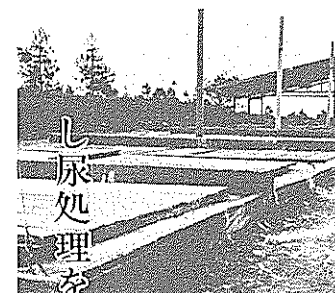
### 働く母と 児のために

保育所に4億2千万円



などの扶助に7億4,518万円など、生活保護の経費に7億9,187万円、前年度より4,435万円増えています。

### 環境整備



尿処理を化学的に 環境をよくするために 2億5千万円

■乳児や成人検診など各種の検診に必要な委託料352万円、妊産婦と乳児の栄養補給のための牛乳支給に164万円。

■赤ちゃんからおとしりまで、——病気から守るための予防接種の貸金144万円、委託料284万円ワクチン代など374万円、及びレントゲン検診の委託料400万円など予防の経費に1,279万円、伝染病予防に195万円。

■地域の人々の健康と生活環境を守るしごとに協力をしていただいています。衛生委員の方々の手当に180万円。公営浴場の運営費346万円。入浴料扶助関係268万円。公害対策などを含めた環境衛生に前年度より480万円増の1,076万円。

■家庭から生まれるゴミ処理の経費は、前年度より2,870円増え、1億2,611万円が計上され、ゴミ収集業者への委託料が3,318万円、ゴミ焼却処理する香南清掃組合の負担金6,208万円などが主なものです。

■立ち遅れていますし尿処理は、46年から黒滝市有林で地下しん透という原始的な方法で処理していましたが、スズエ農機の関連会社である「株式会社SKクリーン研究所」に総額1,280万円を委託し、菌を使って化学的に処理することになりました。この方法によればスカムなどの固体は肥料として利用されるそうです。

ほかに広域行政によるし尿処理場の建設のための、高知中央地区衛生組合負担金557万円など、し尿処理の経費として2,208万円、前年度より476万円多くなっています。

(3Pより)

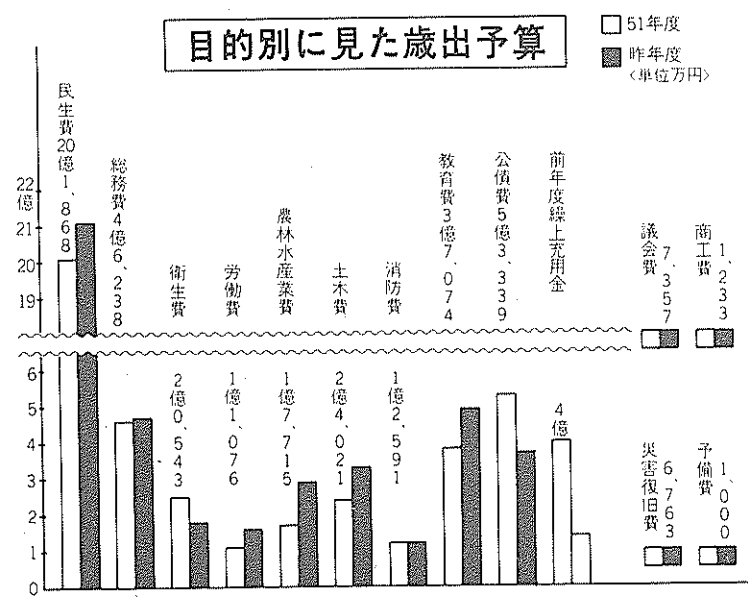
家庭奉仕活動のための経費298万円、おとしりの暮しを守るための老人ホームへの扶助8,282万円、70歳以上のおとしりのための老人医療費関係に1億9,838万円などおとしりの福祉に2億9,368万円が計上されています。

■赤ちゃんのための乳児医療費と重度心身障害児の医療費に1,080万円、3人以上の児童を扶養し、1人以上が義務教育終了前の児童である場合に支給されます児童手当に3,120万円(国の制度)

■働らく母親に代って児童を保育するため、吾岡山保育所へ2,737万円、浜改田保育所へ1,711万円の委託料、吾岡山保育所建設に対する利子補給に368万円、市立保育所には、産休代替保育の雇用に153万円、年間臨時保育・調理師の雇用に936万円、居残りパートに321万円、その他病休などの臨時雇用や手当に462万円、保育事業費や給食費などに5,500万円など、市立の15保育所、3児童館に要する経費は、総額3億8,904万円で、前年度より1,166万円増えています。

■病気などのため生活の維持することが困難な人々を守るための生活扶助や住宅・医療・教育扶助

### 目的別に見た歳出予算



苦しい台所の中から

このように使われます